

## 第1回千葉県障害者施策推進協議会における各委員からの意見・提案

① 第五次千葉県障害者計画の策定について		
発言者	意見・要望	担当部会等案
委員	<p>袖ヶ浦に関して大胆な具体策を望みたい。</p> <p>自閉症に関して昔よりは住みやすくなったがそれでも取り残されている。</p> <p>袖ヶ浦の施設に入った人は、入る前よりはるかに状況が改善されているが、入ったら出られないのが現状。</p> <p>地域移行関連で移動支援、相談援護、重度の訪問介護、グループホームなど、支援事業があるが、自閉症は、使いづらい状況。事業者からも「難しい人」として敬遠されてしまう。</p> <p>千葉県発達障害者支援センターは、始めようとしたところで国がたまたま動き出したので全国で最初の事業。</p> <p>権利擁護の関係で、行動障害、精神障害を支援している人たちが、社会でつらい立場に追い込まれる。たとえば、万引きがあったら支援者が謝りに行かなくてはならないのが日常茶飯事。支援者に対する支援も工夫があればよい。既存の施設、仕組みを充実させるのも、新しいものをつくるのもよし。</p>	<p>権利擁護</p> <p>相談支援</p>
委員	<p>企業で支援(障害者雇用)をしている人たちの声。我々は苦労して障害者雇用をしているが行政機関はどうか、なぜ5年間でよいのか。</p> <p>チャレンジオフィスちばは非常に素晴らしい。千葉県成功のおかげで、業務や雇用のあり方に提案力を得た。見学にきた企業、市町村は無数にあるだろう。では次の一手は何か。千葉県として発信していくには、障害のある人を職員として雇用する動きがほしい。</p>	就労支援
委員	<p>歯科医の立場から。障害者施設の歯科検診を県から受託して70件/年まわっている。実際に訪問したところ口腔内の状況はかなり劣悪。受診したいが診てもらえる歯科がない。障害者・障害児の受け入れが限られている。障害者基本計画にも文言がある。それも考慮してもらいたい。</p> <p>もう一つ、口腔内の検診を定期的に行うと虐待も早期に発見できる。特別支援学校を卒業すると歯科検診を受ける機会がないのが状況。計画に盛り込んでいただきたい。</p>	権利擁護
委員	第五次計画の範囲。大都市特例(政令市、中核市)はどのように適用されるか。「県民」に政令市民、中核市民は含まれるのだろうか。	—
委員	<p>総合計画で1, 2, 4に関連して。袖ヶ浦に関連して。いわゆる行動障害、自傷、他傷、身体拘束と様々な問題がある。ヨットの中で矯正するような事例もあった。隠れて行ったということが犯罪行為。(そういった障害のある人たちを)専門的にどう治すかがこれからの課題だと思う。</p> <p>地域移行を進める上では住民の不安が課題。どう対応すればよいかが不安の原因。専門的に掘り下げることで住民に安心してもらう必要がある。</p>	<p>入所・地域移行等</p> <p>権利擁護</p>

委員	<p>5つの専門部会から推進本部会、施策協議会と流れてくるが、今までの経験では、協議会ではできあがったものをチェックするだけでここでも意見を積極的にフィードバックできない。専門部会、本部会の情報を早い段階で施策協議会のメンバーに出してほしい。</p> <p>5つの部会の分け方は県の独自か、国等でモデルがあったのか。障害者の高齢化対策、災害時の障害者対応はどこで議論するのか。5つだけでカバーできるのか。県の視点は。</p>	本部会
事務局	<p>部会は県の独自の検討。</p> <p>高齢化、災害は入所・地域移行等 WT で検討する。他にも5部会で該当しないものはWTで扱う。</p> <p>今日の意見は本部会、部会にも伝える。</p>	
委員	5つ以外に設けるのか？5つの中で取り扱うのか。	—
委員	災害対応は全県的に他課でやっていないか？	—
事務局	県全体で整合性のある形にしたい。	
事務局	災害、高齢については支援協議会のWTで議論した。災害時要援護者ガイドラインは防災担当部局でとりまとめを行っているので、こちらにも盛り込めるようにしたい。また、協議会、部会の意見がそれぞれ本協議会に届くようにし、適宜ご意見をいただくようにしたい。	
委員	他にもいろいろあるだろう、たとえば累犯障害者の問題。様々な問題があるがそれぞれどこかの部会で議論していただきたい。	権利擁護 就労支援 入所・ 地域移行等

## ② 千葉県社会福祉事業団問題等第三者検証委員会中間報告について

発言者	意見・要望	担当部会等案
委員	<p>袖ヶ浦で特徴的な点が二点ある。</p> <p>一点目、お互い連絡を取り合ったわけではないが、大勢の職員による集団的な虐待が、陰に隠れて継続的に行われていた。</p> <p>二点目、虐待事件があった後も入所者は他の施設に移っていない。他に移れる施設がない。加害者でも施設に残っている職員がいる。双方とも施設に残っている状態。</p> <p>袖ヶ浦だけでなく千葉県の障害福祉全般にわたって検証しなければいけない問題。是非包括的な検討をいただきたい。</p> <p>検証作業の検討結果はおそらく虐待防止法の改正作業に確実に影響を与える。千葉県のみでなく全国に影響を与える検証が第三者検証委員会で進んでいる。</p>	<p>入所・地域移行等</p> <p>権利擁護</p>
委員	<p>指定管理者制度が適しているのかどうか検証してほしい。</p> <p>いい人材を集めようとしても、5年後に仕事が残るかどうかわからないところに、どれだけ手を挙げて参画しようとするだろうか。</p>	入所・地域移行等
委員	<p>指定管理者の選定の流れを知りたい。</p> <p>公募の結果、一者のみであった場合は随意契約になるのか。また応募がなかった場合はどうなるのか</p>	入所・地域移行等
事務局	公募の結果を議会に諮ってから決定する。	
委員	<p>選定基準があるので最低基準に満たなければ契約されない。ただし、事業団側の説明で選定するので現場での確認までは行わない。前回の(袖ヶ浦の)選定の際も実際には現場で虐待が行われていたと思われるが我々はそれを確認することはできなかった。</p>	入所・地域移行等
委員	<p>① 事件の後、各地で虐待防止の研修会が行われているが、事業者を対象にするものが大半で、当事者の家族に対する研修がない。家族は(障害のある)子どもを預けてしまうと安心する。親の感覚に問題があると感じる。親として教育する責任を自覚してほしいし、親に対する教育も行ってほしい。</p> <p>② 指定管理者制度は経費節減のためにしか行われていない。福祉は金がかかるもの。ベテランの職員が暮らしていける給料を出せるようにしてほしい。職員の処遇の改善を望む。</p>	<p>① 権利擁護</p> <p>② 入所・地域移行等</p>
委員	<p>袖ヶ浦に久々に行ってタイムスリップしたような印象を受けた。老朽化して、いかにも隔離然とした雰囲気。行動障害の人たちにはソフトハード両面で最良の環境を提供しないと落ち着いてもらえないと感じている。職員のスキルや意識の改革も必要だが、ハードの改革も同時にやらないと片手落ち。</p>	入所・地域移行等

委員	<p>今回の事件は全国に波及している。自分が勤めている他県の施設でもその県から「こういうことがないように」と通知が来た。千葉県の評判が下がってしまっている。施設への指導を県当局にはお願いしたい。</p> <p>袖ヶ浦は他に応募がなかったようだが公募はどのような形だったのか。ホームページに載せて終わりではなかったか。</p> <p>事業団の体質から作り直す必要がある。抽象的な計画でなく具体的な計画を作る必要がある。</p>	<p>入所・地域移行等</p> <p>権利擁護</p>
委員	<p>保護者の立場から。虐待防止のセミナーで保護者の受講が必要というのは感じている。ただ、体の大きな子どもがパニックを起こして自傷行為に走ったときに羽交い締めにしなくてはならないこともある。私も元気なうちがいいが、家でみられない家庭もあると思う。事業団の処分として新規入所の停止が行われているが、保護者も預けて安心している面は反省すべきだが、事件によって受け入れがなくなったり縮小されたりして行き場がなくなってしまうのも心配だ。</p>	<p>権利擁護</p> <p>療育支援</p>
事務局	<p>強度行動障害を受け入れる民間施設は他にもあるが、その中でも特に重い程度の受け皿として（袖ヶ浦が）機能している面はある。</p>	

### ③ 第四次千葉県障害者計画の進捗状況について

発言者	意見・要望	担当部会等案
委員	<p>① 「25 地域活動センター所在市町村数」について、54 市町村のうち 35 市町村に所在するが E 評価となっているのはなぜか。</p> <p>② 「69 障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催」(25 年度 0 回)と、「11 県が共催・後援する障害者施策等に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数」(25 年度 6 回)とは何が違うのか</p>	<p>① 入所・地域移行等</p> <p>② 本部会</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25 番は前年度から 35 市町村のままで増加していないので E 評価とした。</li> <li>・ 69 番は県単独の事業によるもの、11 は共催、後援するもの。</li> </ul>	
委員	<p>「21 エレベータが整備されている県立高等学校」について、このペースでは全校に行き渡るのはいつになるだろうか。たとえば耐震についてはかなりのピッチで進んでいる。おそらく全員が対象になるため優先度が高いのではないかと、いっぽうで物理的なバリアフリーは、今なくても何とかなっているもので後回しにされているケースが非常に多い。目の前にある困難さ(声の大きい問題)が優先されてしまう。計画の立て方に疑問がある。第四次計画には参画していなかったが、策定の経緯を知りたい。</p>	入所・地域移行等
事務局	<p>県庁各課と調整して作成している。個別には予算等の事情もあるだろう。今後は各課との整合性を図った計画を作っていくたい。</p>	
委員	<p>「15 療育支援コーディネータの配置人数」について。「20 特別支援教育コーディネータ」では、現役のベテラン教員を各学校で校長が指定して機能させている。いっぽう、15 番は 16 圏域ごとの配置と理解できるが、主な任務とは・各学校中核の(特別支援教育コーディネータ)教員と療育支援コーディネータはどのように機能分担していくのか</p>	療育支援
事務局	<p>15 番はもともと国の基金事業。福祉から教育、就労への一貫した取り組みとして始まった。教育との連携で相乗効果が出せればいい。</p>	
委員	<p>① タウンミーティングが受託できる民間団体は限られている。一方で実施した場合の助成額は少ない。範囲内で柔軟に流用する(助成を集中させる?)ことはできないか。</p> <p>② 13 番、地域相談員について。自分も地域相談員をやっているが、ほとんど相談がない。みな同じ状況。地域相談員が誰だか、仕事の内容が何だか知られていない。内容や名前を公表すべきではと思うが、個人の了解次第で名前を出していいのではという程度の回答だった。分野や人を公開すべき。</p> <p>23、24 番に関連して。精神障害も受け入れるとしているグループホームがほとんどだが、一方で実際に入所しているところは限られている。前者における後者の割合で見るべきでは。</p>	<p>① 入所・地域移行等</p> <p>② 権利擁護</p>